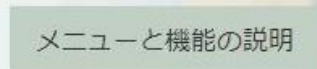
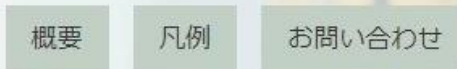


「明和六年 米沢城下絵図」デジタルマップ

本システムにより、明和六年（1769）の米沢城下と、原方（城下外縁部・郊外）の絵図の高精細画像を自由に閲覧することができます。また、江戸時代の絵図と現代の地図を並べたり、重ねて表示することができます。

上杉鷹山が生きた、江戸時代中期の米沢城下の絵図を、細部までご堪能ください。



操作の手引き

- ① 絵図のみ
絵図だけを表示

まずは
ここ！

- ② 地図と並べる
地図と左右に並べて

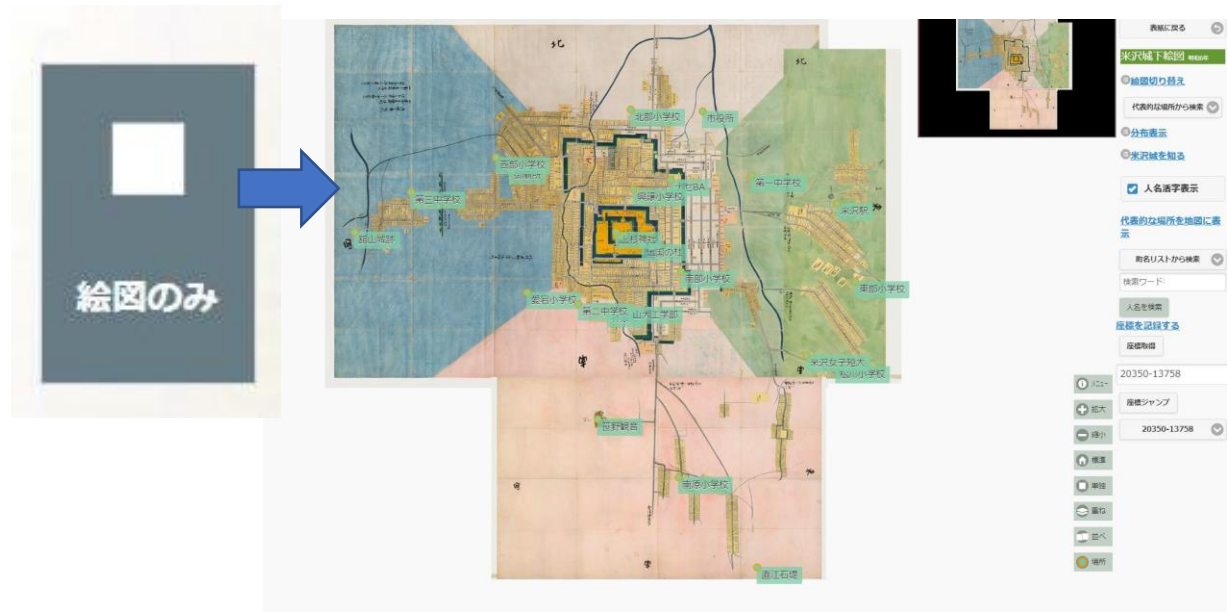
- ③ 地図と重ねる
国土地理院の地図と
重ねて表示。
機能が充実しています。

詳しく
正確に

- ④ 観光白地図と重ねる
目印が多い。
機能は少なく、
操作しやすい

パソコンが
苦手な方に
おすすめ

※ご利用前に「凡例」からシステムの特徴をご確認ください。

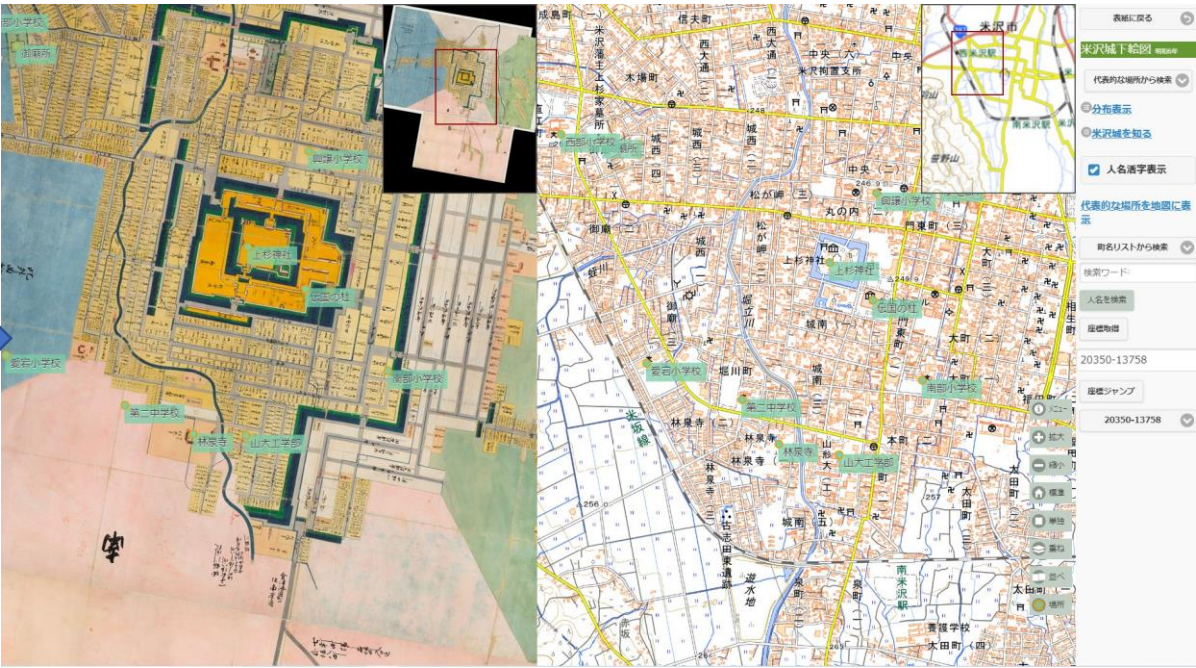


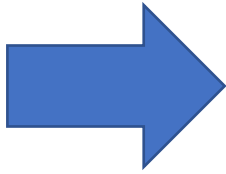
左に、絵図

右は、現代の地図

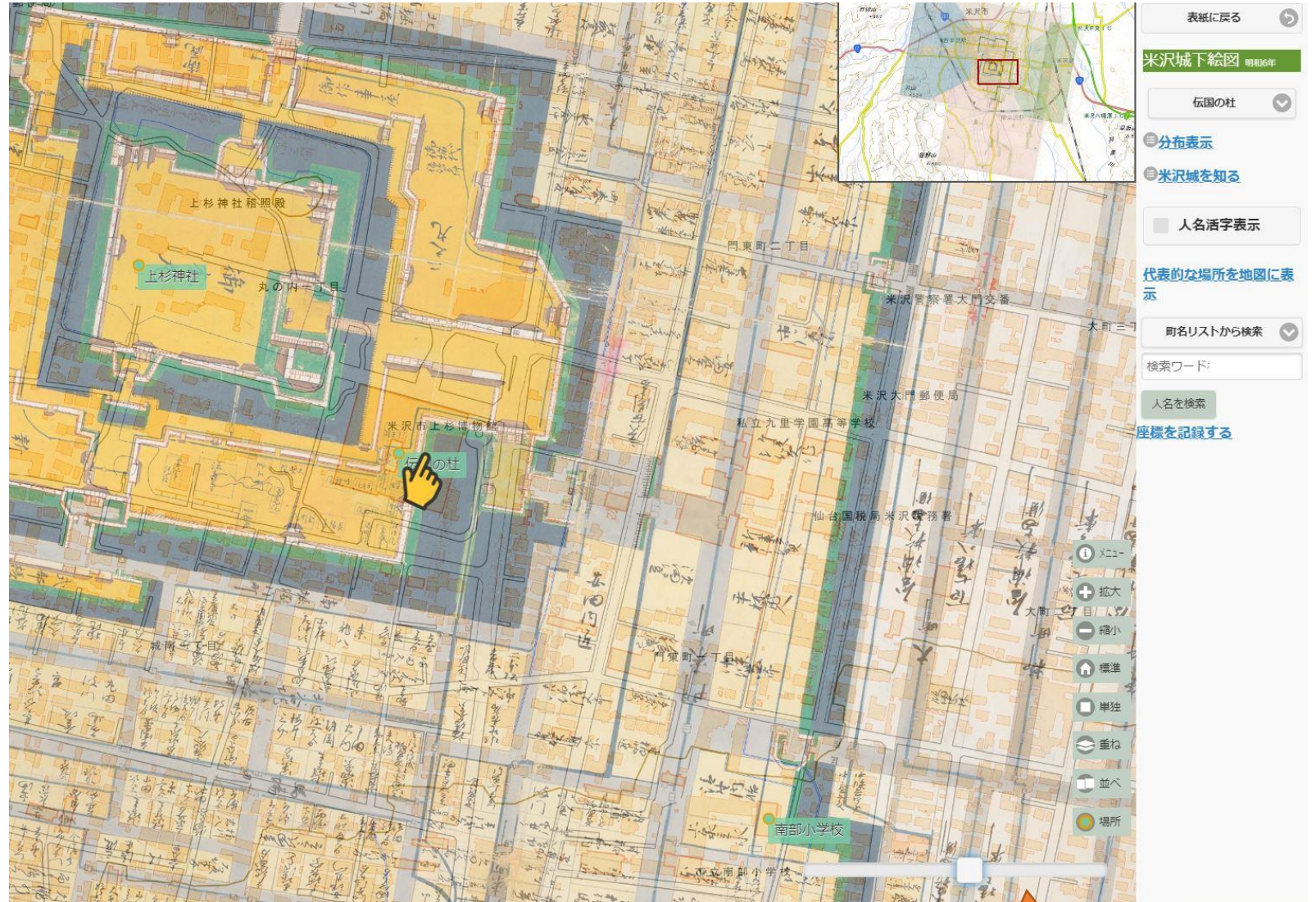


液晶の大画面
ではオススメ

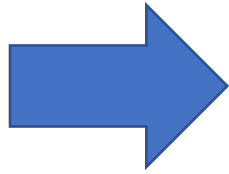




- 絵図と地図を重ねて表示。
- 右下のバーを左に動かすと現代の地図を表示
- 半透明にすると両方を一度に見られます。

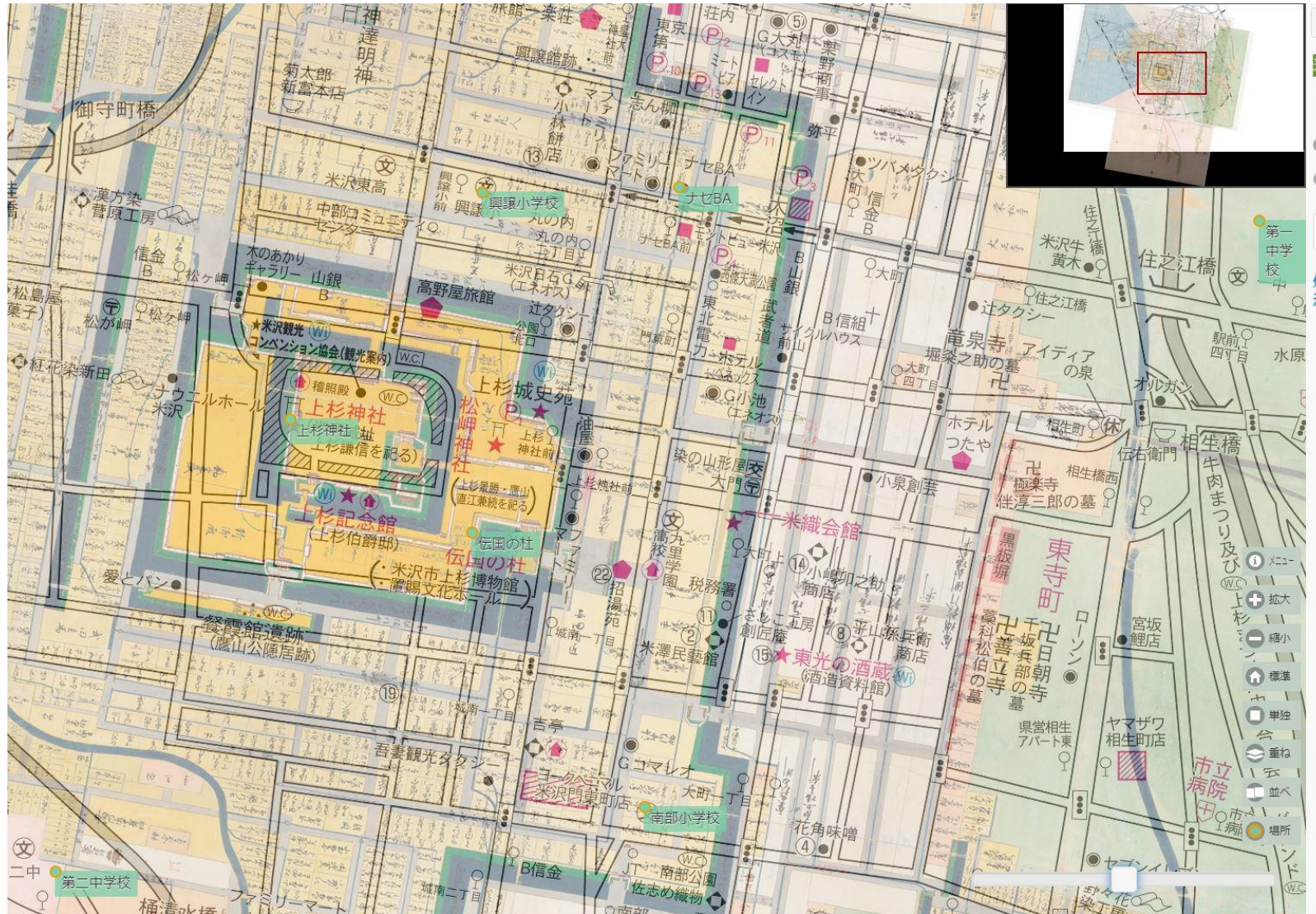


このバーを
左右に動かします



- 絵図と観光用の白地図を重ねて表示。
- 右下のバーを左に動かすと現代の白地図を表示。
- 半透明にすると両方を一度に見られます。

※「観光白地図と重ねる」場合、一部の機能は使えません。

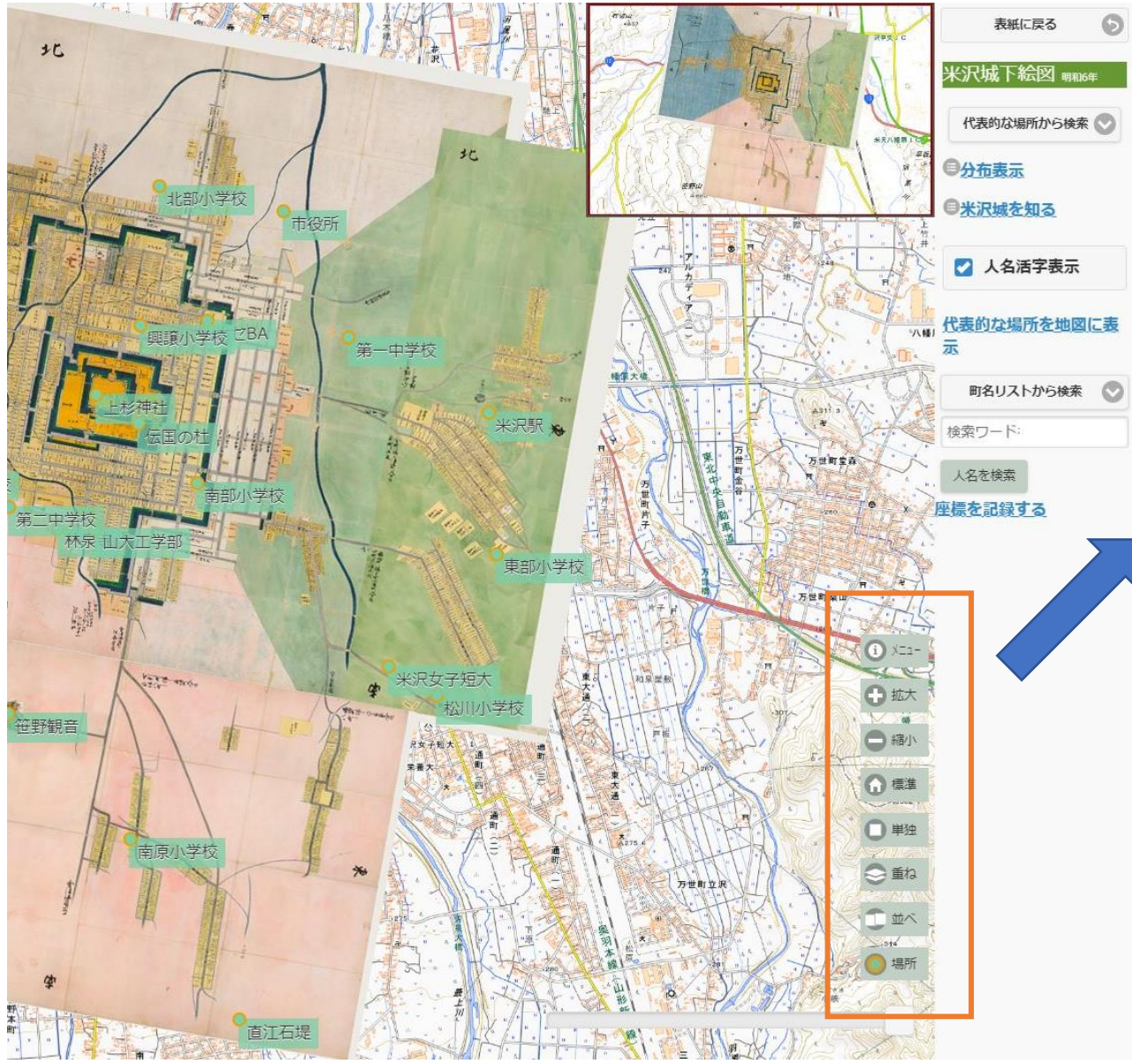


このバーを左右に動かします

観光白地図と絵図を対比させて表示した場合、地形図に比べてずれが大きくなります。対比をより正確に行いたい場合は「地図と重ねる」を、現代の場所の目印を多く表示したい場合は「観光白地図と重ねる」をご利用ください。

メニューの概要 アイコンメニュー

👍: 操作が簡単なオススメ機能



◇メニュー 👍

メニューを隠せば
絵図を広々見られる!

右側の「表紙に戻る」以下の
メニューの表示・非表示を切替。

◇拡大・縮小

絵図の表示倍率を拡大・縮小。

◇標準 👍

絵図上で迷子になったら
このボタンで戻ろう

位置や倍率を標準（最初）に戻す。

◇単独・重ね・並べ


絵図と地図の表示法を切替。

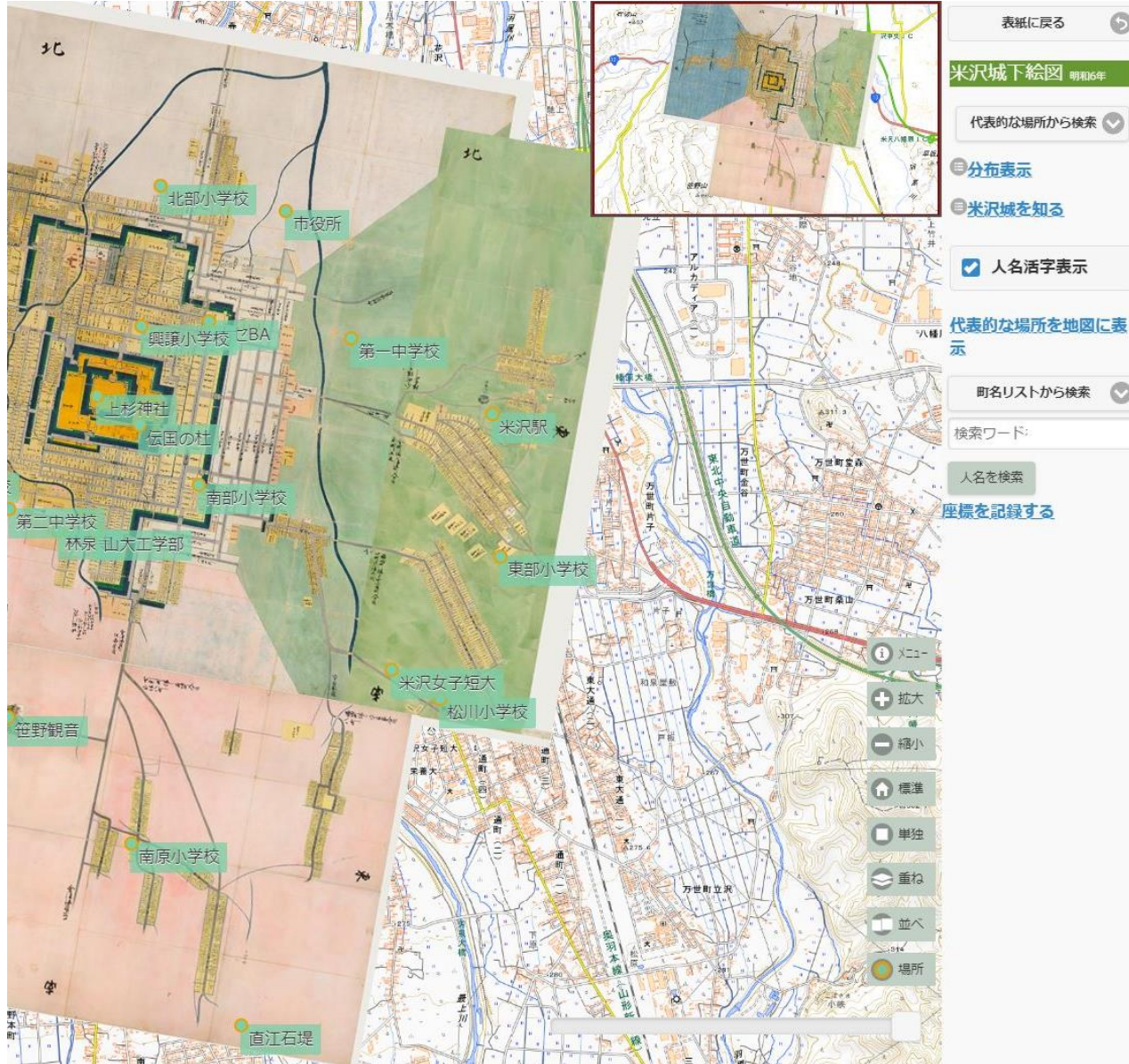
◇場所

代表的な場所の表示をオン、オフ。

メニューの概要

①基本機能

: 操作が簡単なオススメ機能



◇表紙に戻る：最初の画面に戻ります。

①代表的な場所から検索 

名所や学校などにジャンプ

②分布表示 

藩士の身分（組）や寺社地、空地を
色分けして表示。

③米沢城を知る 

城の見どころや特徴を解説。


④人名活字表示

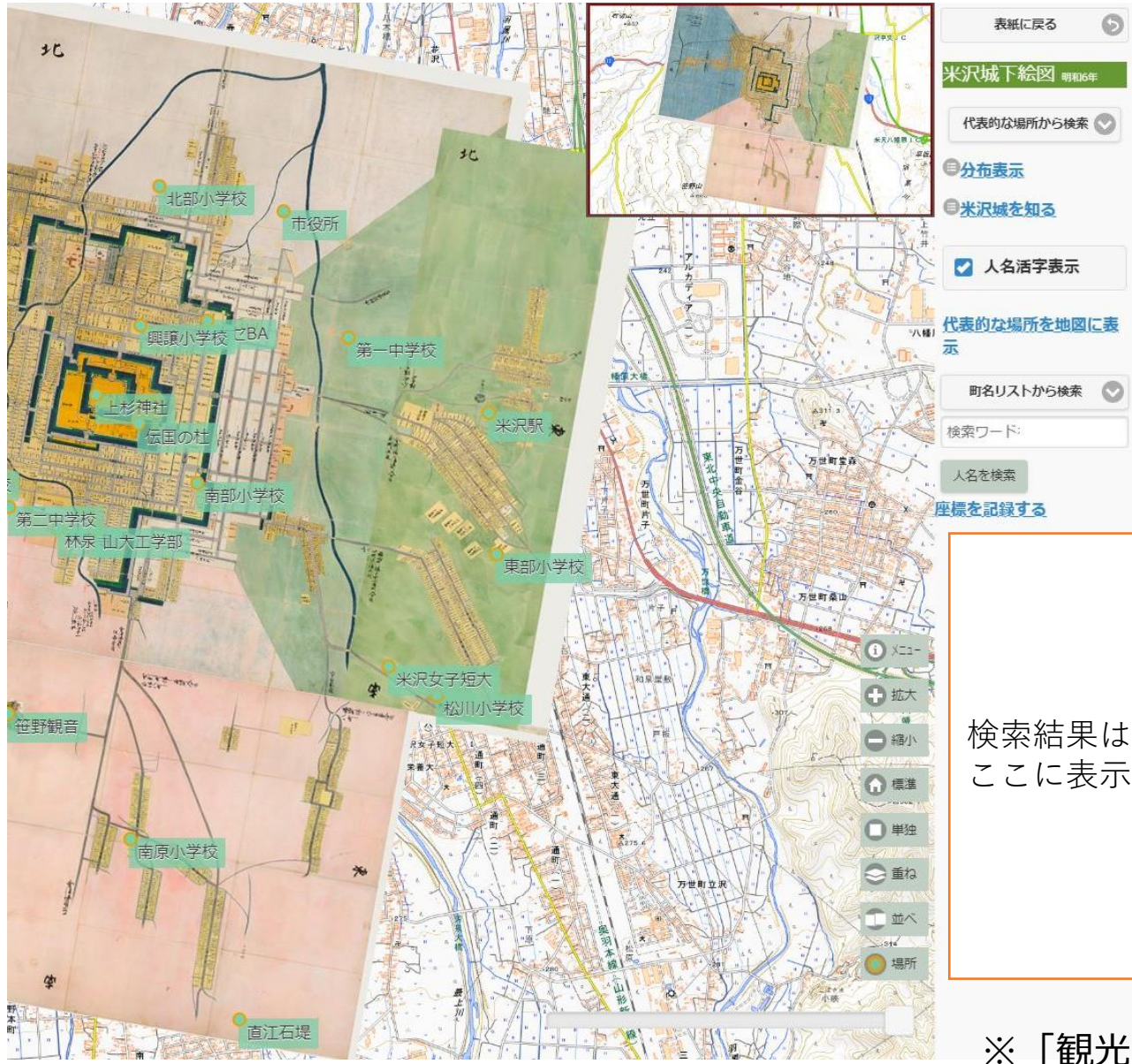
⑤代表的な場所を地図に表示

④、⑤は基本はオンのままで。

画面を見るのに邪魔な場合はオフに。

メニューの概要 ②詳細機能

: 操作が簡単なオススメ機能



⑥町名リストから検索

旧町名の50音順リストから、居住者を一覧で表示。

⑦人名を検索

- ・ 検索ワード 欄に文字を入力。
- ・ 「人名を検索」を押す。
- ・ 検索結果 が表示される。

→検索結果を押すと、その人物の場所が表示されます。

※読み仮名(ひらがな)や 名前の一部でも検索できます。

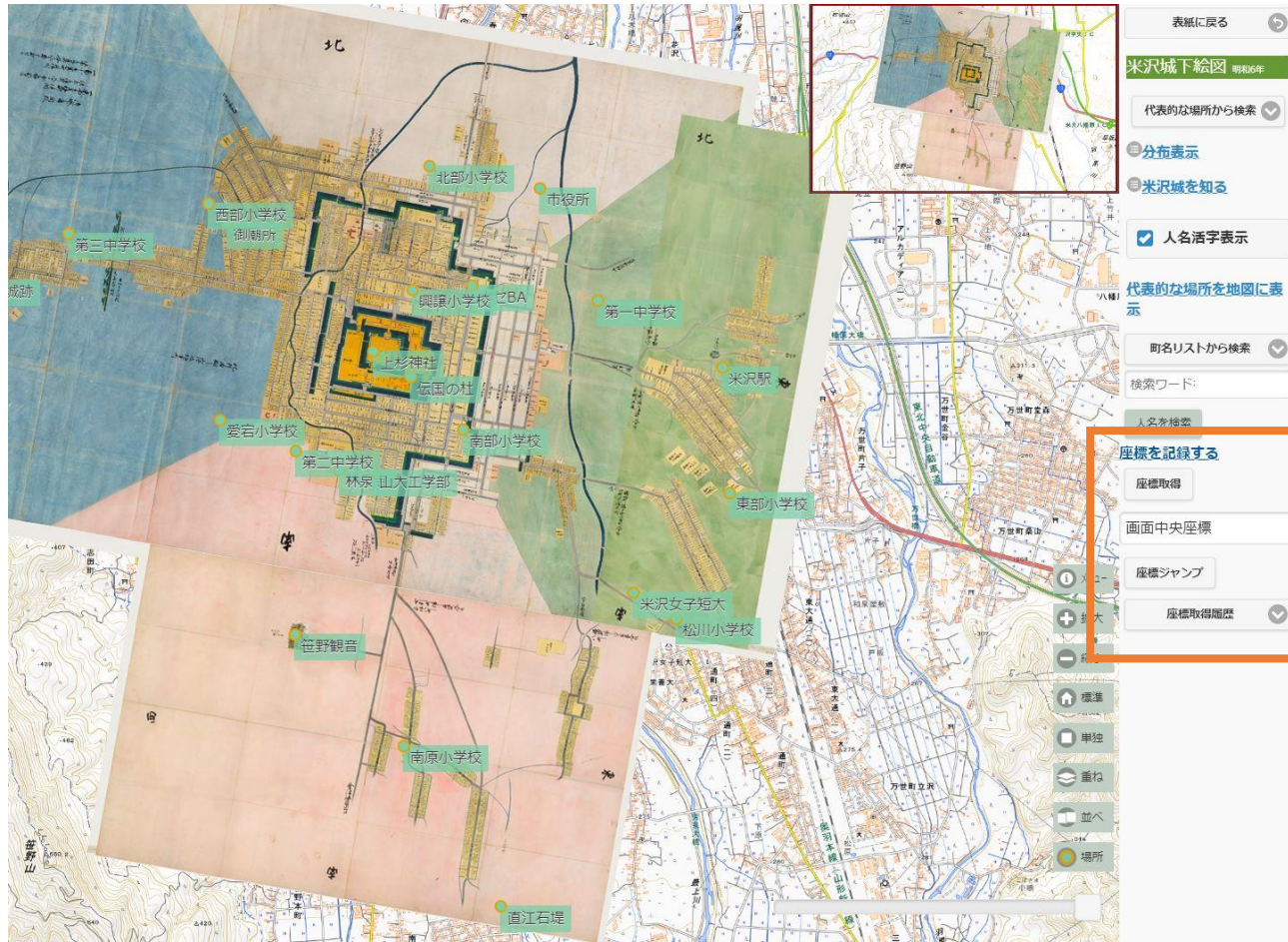
検索結果はここに表示

※「観光白地図と重ねる」場合、以上の機能は使えません。

メニューの概要

③ 詳細機能

👉 : 詳しい方向けの機能です。



⑧ 座標を記録する

任意の（好きな）場所の座標を記録・再現します。

【記録の操作手順】

- (1) 好きな場所を画面中央に表示させる。
- (2) 座標取得 をクリック。
- (3) 画面中央座標 に、その場所の座標の数字が表示されます。
- (4) 上の数字をメモ帳などに記録（コピー）します。

【再生の操作手順】

- (1) 画面中央座標 に、記録した座標の数字を入力します。
- (2) 座標ジャンプ をクリックすると、その場所にジャンプします。

※「観光白地図と重ねる」場合、以上の機能は使えません。